

一般質問通告書

令和8年2月18日

弥富市議会議長 殿

弥富市議会議員 小久保 照枝

下記のとおり質問したいので通告します。

記

書画カメラ	<input type="checkbox"/> 使用する <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない（どちらかにレ点を付ける） ※通告書提出後は、議長に許可を得ること（口頭可）。
-------	---

件名	弥富市の防災力向上について
質問項目及び要旨 (具体的内容)	① 直近3年間で防災講座は年何回開催され、延べ参加者数は ② 防災講座の具体的な内容は ③ 今後改善すべき点や新たに取り組む予定の内容はあるか ④ 各避難所レイアウトの見取図（参考例）と避難所運営マニュアルの作成など進捗は ⑤ マイナンバーカードやLINE等を活用した避難所受付の導入、デジタル防災サービスの拡充について今後の方向性は ⑥ グループホームや障害者施設に対する防災への取組みは ⑦ 当事者（障がい者）参加型の地域防災訓練をどのように進めていくか ⑧ 市制20周年事業として、防災フェスタ開催への進捗は ⑨ 子ども・若者が主体的に参加できる防災教育イベントとしての展開を検討しているか ⑩ 市長総括を
答弁者	市長・担当部課長

件名	地域猫活動を支える仕組みづくりについて
質問項目及び要旨 (具体的内容)	<p>① どうぶつ基金を活用し、不妊去勢手術を行っているがこれまでの実績、相談件数、地域別の傾向、課題認識は</p> <p>② 捕獲から搬送、術後ケアまで担う負担は大きく、継続性に不安があります。この現状を市としてどのように評価し、改善の必要性をどのように考えているか</p> <p>③ 捕獲器の貸出、搬送補助、消耗品の支援など、ボランティアの負担を軽減する具体的な取組と、今後検討する考えは</p> <p>④ 市内で協力病院を確保するための働きかけ、また近隣自治体との連携強化は</p> <p>⑤ 地域猫活動の目的や効果、繁殖抑制や糞尿被害の減少などを、市民に分かりやすく伝える広報の強化を検討できないか</p> <p>⑥ 餌やりマナー、地域ルールづくり、苦情対応などについて、地域と行政が協働する仕組みをつくる考えは</p> <p>⑦ 高齢者の多頭飼育崩壊や、空き家に猫が住みつくケースが増えています。福祉部局や空き家対策担当との連携は</p> <p>⑧ 苦情対応の選択肢を増やすため、猫よけ器の貸し出し制度を導入する考えは</p> <p>⑨ 地域猫ボランティアの活動を、学校教育の中で「命の授業」として検討する考えは</p> <p>⑩ どうぶつ基金の枠に依存せず、将来的に市独自の不妊去勢助成制度を検討する考えは</p> <p>⑪ 地域猫活動を、地域課題の解決、地域福祉の一環として位置づけ、総合的な支援体制を構築する方針は</p>
答弁者	市長・担当部課長

件名	
----	--